

神示

「ひかりのさと偉光郷」の存在価値を皆に教えん

——人間人の正体は「魂」——

一言「いちごん真理」悟り得たとき 人は「人類心」実体休まる地を求めん

「ぎよく玉」を里に預け 神魂に「魂心」包まれて 人の心は安定する

「魂魂」は安らぎ その家家々やの「心の道」に

「生きる」姿思いがつながってゆく

こたびの工事動きをもって 「しんぎよくのさと神玉里」「しんぎよくのその神玉園」は力存在を表し

迎える次の「人生」を 引き上げ 守ってゆく

使者二方の「しんぎよく神玉」の奉安かなう今今日を 神は祝うと申す